

白樹

HAKUJU



白樹会だより 第23号

令和元年8月1日

発行／山梨県立大学看護学部同窓会 白樹会

編集／白樹会編集委員会



ホームページに最新情報を随時更新しております。
住所変更もこちらからお願い致します。



令和の時代 さらなる発展を！



公立大学法人 山梨県立大学
看護学部同窓会「白樹会」会長
山梨県立高等看護学院保健婦学科

16期生 齊藤 けさ子

元号が改まり新しい時代が穏やかに、喜びあふれるなか歩み出しました。

令和の時代、いにしえに思いを馳せながら、希望に満ちた平和な時代をつくっていかねばと思うところではあります。

会員の皆様には、白樹会の活動に多大なご支援・ご協力をいただいで居りますことに感謝申し上げます。

白樹会も昭和30年に設立され今年で64年目を迎えました。昭和・平成と2つの時代を、設立以来一貫して「母校の発展」「学生への支援」「会員相互の親睦と資質の向上」を目的に活動を継続して行ってきたところではあります。

母校は今や、高度な専門性を備えた看護実践者の育成を目標に大きな発展を遂げてきています。令和の時代、母校の更なる発展

を応援していければと思うところです。そのためにはまず、会員の皆様に母校に思いを寄せていただくことかと思えます。

その一つの場として例年行っております総会があります。既にご案内のように、今年度は10月12日に看護学部の「聖灯祭」に合わせて実施することにいたしました。

たゆみない発展を続けている母校、その中で学んでいる学生の姿にも触れていただけたことと思えます。

また、総会終了後には人工知能研究における我が国の第一人者でいらつしやる、国立情報学研究所・総研大教授 山田誠二氏の講演会を予定しております。

今後も、原点に立ち返り同窓会の更なる発展を目指して参りたいと思っておりますので、皆様方の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

事務局長 あいさつ



公立大学法人 山梨県立大学
看護学部同窓会「白樹会」事務局長
山梨県立大学看護学部

准教授 前澤 美代子

私たち事務局長一同は、会長・副会長とともに同窓会の皆様の活動や学生の支援を行いながら、白樹会を盛り上げ、平成の終わりから令和元年にかけて、白樹会活動の「見える化」に取り組んでまいりました。具体的には、ホームページや同窓会誌「白樹」の刷新、大学のキャンパスの環境整備、これは私たち事務局員が校門周辺の柵のペンキを塗り替え、長い歴史の中で植樹された大木が災害時の障害にならないように剪定を行いました。また、大学の門を通るたびに、学生や教職員の癒しとなるように季節ごとに校門の花を活性替えております。今年度からは、総会と講演会の日程を大学の学園祭の時期に変更しました。同窓生の皆様が母校に戻り、学生の活動を通して、初心を分かち合えていただけたら幸いです。そのほかの活動は、ぜひ、ホームページをご覧ください。

母校にとって同窓会が必要不可欠

な存在となるよう、役員・事務局長一同、心一つにして同窓会を発展させて参る所存です。また、同窓会の機能や同窓生のネットワークを存分に活用し、母校発展と地域社会貢献の一躍を担いたいと考えております。皆様におかれましても、これまでに以上に白樹会の活動に関心を持っていたら、主体的かつ積極的に参画していただけますよう心からお願い申し上げます。



2018年度事業計画

- | | | |
|----------------|------------------------|-------------------------------------|
| 1) 通常総会開催 | 4) 山梨県立大学看護学部行事への参加・協力 | 7) その他 |
| 2) 講演会 | 5) 在学生への支援活動 | (1) ホームページの充実 |
| 3) 同窓会誌『白樹』の発行 | 6) 在学生との交流事業 | (2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 甲府への支援・参加 |
| | | (3) 白樹会基金設立の準備 |

2018年度 同窓会役員

	氏名	所属・役職名
名誉会長	清水 一彦	公立大学法人 山梨県立大学 学長
名誉会員	望月 弘子	山梨県看護協会 名誉会長
	松野 かほる	前山梨県立看護大学 学長
	林 滋子	前山梨県立看護大学・山梨県立看護大学短期大学部 学長
	望月 勲	前山梨県立看護大学短期大学部 学部長
	松下 由美子	前山梨県立大学看護学部 学部長
	佐藤 悦子	前公立大学法人 山梨県立大学看護学部 学部長
	流石 ゆり子	前公立大学法人 山梨県立大学看護学部 学部長
顧問	村松 照美	公立大学法人 山梨県立大学看護学部 学部長
会長	齊藤 けさ子	自宅
副会長	中嶋 君枝	山梨大学医学部附属病院
	山岸 大賀彦	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院
監事	田中 慶子	自宅
	山本 美代子	自宅

2018年度 同窓会事務局

	氏名	所属
事務局長	前澤 美代子	公立大学法人 山梨県立大学看護学部
書記	新藤 裕治	公立大学法人 山梨県立大学看護学部
	森田 祐代	前公立大学法人 山梨県立大学看護学部
	高取 充祥	公立大学法人 山梨県立大学看護学部
会計	三澤 みのり	公立大学法人 山梨県立大学看護学部
	遠藤 千帆	甲府市立 善誘館小学校
事務局員	小西 裕子	山梨県総務部職員厚生課
	小澤 めぐみ	峡南医療センター富士川病院
	梶原 瞳	公立大学法人 山梨県立大学看護学部
	飯嶋 玲奈	公立大学法人 山梨県立大学看護学部
	星野 麻子	山梨県立育精福祉センター
	市川 佳子	山梨大学医学部附属病院
	渡邊 優	国民健康保険 富士吉田市立病院
	井出 和子	医療法人 のだ内科クリニック
	三枝 享	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院
	山岸 良治	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院
	木村 友里	地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院

2017年度 白樹会一般会計決算報告 (2018年度の総会で承認されました)

収入総額	4,038,263	円
支出総額	1,832,355	円
差し引き残額	2,205,908	円

〈収入の部〉

(単位 円・△減)

項目	2017年度予算額	2017年度決算額	増減	備考
繰越金	1,858,243	1,858,243	0	
入会金及び終身会費	2,000,000	2,180,000	180,000	
雑収入	150	20	△130	
合計	3,858,393	4,038,263	179,870	在学生の入会者率向上

〈支出の部〉

項目	2017年度予算額	2017年度決算額	増減	備考
会議費	163,000	154,661	△ 8,339	
事業費	870,000	1,375,254	505,254	事務費から会誌発送代金を事業費に統合
事務費	616,848	257,440	△ 359,408	会誌発送代金を事業費に移行
その他	150,000	10,000	△ 100,000	
慶弔費	50,000	10,000	△ 40,000	
予備費	2,058,545	35,000	△ 2,023,545	
合計	3,858,393	1,832,355	△ 2,026,038	

2017年度 白樹会特別基金決算報告 (2018年度の総会で承認されました)

前年度繰越金	7,740,594	円
支出総額	2,030,909	円
差し引き残額	5,709,685	円

〈支出の部〉

項目	2017年度予算額	2017年度決算額	増減	備考
被災学生等支援費等	200,000	0	△ 200,000	
学内環境整備費用	1,000,000	1,030,909	30,909	
HP、広報設立費用	1,000,000	1,000,000	0	385,162円 OA機器発注中

*細目等はページ校正の関係ですべて記載できないので、ホームページより2018年総会資料をご覧ください。
 会計 高取充祥、三澤みのり

2018年度の総会・講演会



講師：鈴木 徹 氏（義足のハイジャンパー）

講演会テーマ：

『障がいをもって分かったこと

～看護師の支えがあったからこそ今がある～』



2019年度のお知らせ

2019年度 総会・講演会

2019年10月12日（土） 受 付 11：00～
通常総会 12：00～
講演会 14：00～

講 師：山 田 誠 二 氏
(国立情報学研究所・総研大 教授)



我が国の第一人者である山田誠二氏から、人工知能について講義をいただき、私たちが人工知能を正しく理解し、社会や私たちの生活にどのように影響していくのか、身近なことから考える時間にしたいと思います。さらに、医療看護において、私たちが準備しておくことなどのヒントを得たいと思い、企画しました。

第25回
聖灯祭
山梨県立大学看護学部学園祭
2019年10月12日(土)
Open 10A.M.
Close 5P.M.
山梨県立大学看護学部
山梨県甲府市池田1-6-1
Twitterで同時情報を更新しています

参加費無料

同窓生の活躍

看護師
保健師
助産師
養護教諭

「新元号『令和』を迎えて」

介護老人保健施設つる 看護師 幡野 均



心に携わる職業として看護に魅力を感じ、平成6年山梨県立高等看護学院に入学しました。

同期に他の男子学生がいない不安もありましたが、多くの先生方と学友に温かく見守られ、支えられて看護職へ歩むことができました。

時に笑い、涙して自身の看護の是非を日々問いながら歳月を経て、新たな元号の令和を迎えました。人生や職業としても折返しに差し掛かったと考えると、自己を振り返る機会となり改め

て襟を正す思いでいます。また、昨年より介護老人保健施設へ異動となりました。生活の質と必要な医療のバランスを考える看護に戸惑いもありましたが、多職種連携、地域医療の再認識と共に、人生の最終章をその人らしく迎える上での意思の尊重、生きる尊厳の関わりから入所者の笑顔に出会える看護の深さと魅力を実感しています。

人に寄り添うことの難しさ、

また尊さも知り得ているのが看護です。令和の意味にも通じる心を繋ぐ看護を育んでいきたいと考えます。

「令和を迎えて」

大月市役所 保健介護課 保健師 小佐野 美幸



私は山梨県立看護大学短期大学部を卒業後、看護師として1年勤務し、保健師の専攻科へ入学、卒業後に現在勤務する大月市役所へ就職しました。健康増進担当として妊娠期からの支援や子育て支援、特定健診や特定保健指導など、「ゆりかごから墓場まで」多くの方々への支援に関わり、現在は地域包括支援センターの保健師として主に高齢者の支援に関わっています。

少子高齢化を迎え、高齢者本人だけでなく就労していない子ども（8050問題）への支援や孫がキーパーソンとして介護している場合など家族のあり方も多様化してきています。時代や社会、家族形態の変化はありますが、「家族全体を見て支援していく」という保健師本来の支援のあり方はい

つの時代になっても変わらないなと令和という新しい時代を迎え、改めて感じています。これからもその人らしさを大切に、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、住民のみなさんに寄り添いながら頑張っていきたいと思えます。



令和を迎えて「新たなスタート」

山梨県立甲府支援学校 養護教諭 小野寺 海大



養護教諭

山梨県立大学を卒業してから3年が経ちました。養護教諭として勤務し始めて今年で4年目、非常勤講師や代替教員などを経て、今年度は新採用者という立場になりました。現在は、山梨県立甲府支援学校に勤務しています。昨年度までは小学校に勤務していたため、大きく異なる環境となりましたが、慣れないことに苦労することもありますが、学びの多い、充実した日々を送っています。

大学生の頃から養護教諭を目指して努力してきましたが、「無理だ」と人に言われることも少なくはありませんでした。しかし、大学生の頃から現在まで支えてくださっている先生方、富士北稜高校や鳥沢小学校での3年間に会った方々の応援のおかげで、夢を叶えることができました。元号が令和に変わり、自分も人生の新たなスタートを切りました。これからも今ままで変わらず、支えてくださる皆さんに感謝を忘れずに日々全力で、子どもたちと向き合っていきたいと思っています。

「令和」を迎えて

山梨県立中央病院 総合周産期母子医療センター

助産師 内藤 久美子



助産師

私は念願であった助産師となり今年15年目を迎えました。知識を深め、多角的に判断し質の高いケアを目指したい。そして助産師としての高みを目指したい。その思いで昨年大学院へ進学しました。「平成」という時代は、私の人生の基盤を作り上げた時代であり、「平成」から「令和」という新しい時代を迎える節目の時に、自身も新境地に立っている事は、助産師として新たな道を開こうとしている事と重なり、感慨深く思っています。研究テーマを模索する中で、私は

全ての方が本来持っている「乗り越える力」という事に興味を持ち学習を深めています。人生には予期せぬ事が起き、乗り越えなければならぬ事が多く生じます。掛け替えのない命を授かり、日々奮闘しながらも充実した日々を過ごす母親達がいる一方、深い悩みを抱えながら子育てをする母親達もいます。関わった母子には苦で無く幸せであって欲しい。助産師として、どのようなケアを行う事が出来れば、人生の出来事を自分の糧として受け止め、乗り越える助けとなるのか。周りの方々に支えてもらいながら学びを深めていきたいです。

「心不全。パンデミック」

山梨厚生病院 看護師 鈴木 麻美

看護師

近年、心筋梗塞や狭心症など虚血性心疾患の増加や少子・超高齢・多死社会により高血圧や弁膜症の増加などにより、心不全の患者様が急増しています。心不全の罹患率は高齢になればなるほど高くなる事が知られており、罹患患者数は全国で約120万人、2030年には130万人に達すると推計され、「心不全。パンデミック」とも言われています。心不全は増悪と寛解を繰り返すことで病態と身体機能が変化しいく疾患で、治療と疾病管理が重要になります。

認定看護師として、症状緩和のマネジメントや家族の精神的サポート、退院後の療養生活の相談や指導を行い、また、QOLの向上や長期予後の改善、再発・再燃を予防するために心臓リハビリテーションを勧め、セルフケア能力を向上させるために包括的な関わりを行っています。心不全患者様ができるだけその人らしい生活ができるように多職種と協働し支援して行きたいと考えています。



※写真は患者ごとの許可を得て撮影、掲載しています。

新たな時代の変化を見定め、 教育を創造していきこう

かしながら、社会の変化を見定め、看護の専門職業人の育成に

山梨県立大学看護学部

学部長 名 取 初 美



今年度から看護学部長をしております名取初美です。同窓会白樹会の皆様には、本学部の教育について日頃から多大なご支援をいただき、感謝申し上げます。

今年5月に新元号が「令和」と発表され、すこし慣れてきたように思います。「令和」の時代がスタートして思うことは、「変化」です。今、少子高齢社会となり、入院患者の在院期間の短縮化、在宅医療の推進など、医療の在り方や医療を取り巻く環境が大きく変わってきています。これらの状況に対応するために、卒業時の学生の能力として、社会のニーズに対応できる看護における総合力・包括力・連携力等が求められており、看護基礎教育についての検討会がすでに始まっています。社会からの看護職への期待は、ますます大きくなるばかりです。私たちは、山梨県立大学看護学部の強みを生

力を注いでいかななくてはなりません。さらに看護実践開発研究センターでは、認定看護師教育の方向性を検討する時期にきているように感じます。

令和の「令」には、美しいとか清々しいという意味があるそうです。新たな元号となった本年度、平和で清々しく、そして創造的な思考をもつて、長・中期的に大学の教育を考えていきたいと思っております。今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

新元号「令和」を 迎えて

山梨県立大学大学院看護学研究科

研究科長 佐藤悦子



日頃より白樹会の皆様には、看護学研究科の教育・運営に多くのご支援を頂き、心から感謝申し上げます。本研究科も、平成14年度に開学し18年目を迎



えました。この間、修了生を109名輩出し全国で活躍しております。今年度は新たに11名の新入生を迎え、現在28名の院生が学んでおります。本学の修了生たちも、講義や実習指導等で本学の教育にご支援くださり、大変心強く思っております。

「令和」という新時代を迎え、ますます社会は複雑・多様化して参りました。日本看護系大学協議会は、これまで以上に社会からの期待に応えるべく、高度実践看護師教育課程を26単位から38単位に変更しました。本学も、令和2年4月から「専門看護師コース」を38単位に改定しスタートする準備を進めています。同時に、今まで「専門

看護師コース」のみだった専門分野も「研究コース」を併設し、全ての専門分野が「研究コース」を開く予定となっております。

さらに、博士課程設置に向けて長年積み上げて参りましたが、いよいよその実現に向け具体的な準備を進めております。白樹会の皆様には今後アンケート調査等でご協力を頂きたいと思いを大切にしつつ、今以上に学部と一体となり、県内外の看護に貢献できるように取り組んでいきたいと思っております。今後ともご指導、ご支援を心よりよろしくお願いいたします。

2018年度の事業報告

リレーフォーライフへの参加・支援



聖灯祭への参加・支援



学生支援事業

合格祈願・証書入れ



大学構内環境整備への支援



国際交流支援活動

現地に行つてこそ分かる国際保健の課題

山梨県立大学看護学部3年

橋本伊代
山本里咲
佐藤舞波

私たちは国際保健医療演習の研修でラオスの文化・風習に触れ、「当たり前前」とは何かを考えさせられました。ラオスには赤ちゃんにもち米を与える風習があります。実際に研修先の病院にもち米を詰まらせ入院してきた赤ちゃんと母親に会い、文化・風習が影響する健康課題の現実を知りました。もち米を与えることはラオスでは昔からの風習であり、私たちの考える「当たり前」が「当たり前前」ではないと感じました。現地では地域住民への栄養指導を行いました。村人が何を食べるのか、そもそも3食食べる習慣なのかと行き詰まることも多かったです。サワガニやタマリンドウなどラオスの食べ物や住民に伝わりやすいジェスチャーを現地の看護学生に教えてもらおう際にも、私たちの「当たり前前」が常識ではないことを実感しました。

またラオスは、都市部は発展していますが、インフラ未整



備のため農村部は新鮮な食材が少なく、繰り返し雨季乾季のせいで道はでこばこになり、妊婦や病人が医療を受けるために都市部に行くことは困難です。健康課題の解決のためには、保健医療の視点だけでなく経済や農業、行政など様々な専門的視点からのアプローチが重要で、多分野の連携や協力が不可欠であることを学びました。今後は今回の学びを活かし、看護という道を歩みながら出会う多くの人々ときちんと向き合い、次につながる関係を作れたらと感じます。私たちの将来にもつながる貴重な体験をさせて頂き本当にありがとうございました。



あのころ君は
若かった

親子2代：山本成子さん(母)と京佳さん(娘)で佐藤先生にお世話になりました

白樹会基金設立準備中

今年度の総会にて審議予定です。

山梨県立大学大学院看護学研究科 2020年度大学院生募集

詳しくは、「山梨県立大学大学院」を検索
<http://www.graduatenuing-yamanashiken.com/>

山梨県立大学看護実践開発研究センター 母校で認定看護師をめざそう！

(認知症看護)

詳しくは <http://rcdnp.yamanashi-ken.ac.jp/>

同窓会幹事代行『Reフレンズ』

同窓会をしたいけど、幹事は大変・・・
そんな幹事様の声にお応えして、
サラトが幹事の仕事を代行いたします！
まずは、お気軽にお問い合わせください。



同窓会専用
ホームページ
開設
パスワードでログイン
セキュリティも安心

当日までの雑務は
すべて
おまかせ

案内状を
出したくても
住所が分からない
そんなケースにも
対応！

お問い合わせ 株式会社 サラト 同窓会プロデュース専用

TEL0120-953-070

受付時間 月～金 9:30～12:00/13:00～17:00

WEB サラト 検索

「サラト」で検索。同窓会幹事代行
Reフレンズのバナーをクリック。



株式会社 サラト

〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172番地
Tel.079-284-1380 Fax.079-288-4834

編集後記

人生を走り続けるには時に「原点
回帰」することも必要ではないで
しょうか。

卒業し離れた母校に再び帰ってく
ると、改めて「ここが自分の看護の
スタートだったんだ。」と、思いに
ふけることがあります。学生時代に
真面目でモチベーションが高いわけ
ではありませんが、友と純粋に看護
に向き合い、希望を抱いたあの時の
自分を思い出します。そして今の自
分にこう問う。「あの頃の未来に僕
らは立っているのか (by snap)」と。
会員の皆様も令和元年という新た
なスタートをきるのにふさわしい今
年に、ぜひ母校に戻り「原点回帰」
しませんか？総会・講演会を待ち
しております。

事務局員一同、母校の発展や学生
に少しでも充実した環境で看護に向
き合ってほしいと日々活動しており
ます。特に一昨年から、活動内容を
抜本的に改革しており、少数精鋭
ですが仕事終わりの忙しい中でも駆
けつけて会議をしています。今後も
継続的に活動し、白樹会を盛り上げ、
そして母校に貢献していきたいと思
います。

「一緒に活動したい」と、思う
方がいましたら事務局までご連絡下
さい。是非、事務局員と一緒に
活動を盛り上げていきましょう！

編集委員会 新藤・高取